

単元名

大地震から身を守るために
～「公助・共助・自助」について考えよう！～

単元目標

大地震が起こった際に地域に起こることや、そのための防災計画について調べることを通して、「公助」の視点からどのような取り組みが計画されているのか知ると同時に、「共助」「自助」の考え方の大切さに気づき、いざというときに、自分に何ができるか、どう行動すればよいか、考えることができるようにする。

フローチャート

(全24時間)

※○数字=時間数

1. 大地震が起きた際の被害想定に関する報道記事を読み、
感じたことや考えたことを話し合う

2

津波が来るまでに、これしか時間がないよ。
どうすればいいのだろう？

倒壊する家屋がこんなにたくさんあるんだって。
この地域は大丈夫なのかな。

2. 自分たちの住む地域の防災計画を読んだり役所の方の話を
聞いたりして、具体的な取り組みや組織について調べる

6

道路のこと、避難場所のこと…
いろんなことが細かくきめられているよ。

水・食料・毛布…いろいろなものがたくさん、
たっぷり準備されているんだね。

3. 「学ぼう BOSAI 命を守るチカラ フライトドクター」を視聴し、
感じたことや考えたことを話し合う

2

「トリアージ・タッグ」の「黒タッグ」の判断って
本当にむずかしそう。

公助については調べてきたけど、
自助・共助について考えることが大事だと思った。

4. 防災計画に沿って自宅を見直したり、役所の方や町内会長さん、
家族へのインタビューを行ったりし、「自助」「共助」の視点から
自分たちにできることを考える

8

家族と離れているときに、どうすれば確実に
連絡をとれるのか、状況別に考えよう。

「まずは共助より自助」って言われた。
「大人に余計な迷惑をかけない」がまずは大事

5. 「自助・共助」の視点から考えた、災害時に大切にしたい
考え方や行動の仕方を「○○町 防災憲章」として整理し、
地域に向けてリーフレットで発信する

6

命を守るチカラ 「フライトドクター」
本時の目標（第9時間目／全24時間）

映像資料をもとに人命救助の現場で起きていることを知り、より多くの命を守るために、自分にできることはないか考えることができる。

主な学習活動	指導上の留意点
<p>1. 地域の防災計画を読んで、震災時の人命救助についてわかったことを話し合う</p> <p>「放送を聞いて防災頭巾をかぶるね」 「地域のいろいろな立場の人の役割がはっきりしている」 「小さい子やお年寄りを優先に考えている」 「消火する場所にも優先場所があるんだって」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>実際の人命救助の現場では、どんなことが起きているのだろう？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体の防災計画から、様々な立場の人が助け合う仕組みができていることに気付けるように、組織図等や基本理念等を抜粋して整理し、どの部分を話題にするのかわかるように提示する ○区役所で学んだことを整理し、掲示する ○「人命救助」をキーワードとして、VTRへとつなげる
<p>2. VTR「学ぼう BOSA I 命を守るチカラ フライトドクター」の前半(scene06まで)を視聴し、感想を話し合う</p> <p>「自分の住む地域は、道がせまくて、救急車が来られないと思っていたけど、こういうヘリがあると安心だなと思った」 「東日本大震災の時にも活躍してたので、いざという時に頼りになると思った」 「『黒タッグ』って、なんだかひどいなと思った。後回しにされるなんてかわいそう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「人命救助の現場では～」という問題について確認する ○ヘリの機能や体制など、基本的な事実としての情報についても自由に出し合うように声をかける ○人命救助の現場での苦労や難しさについて考えを深めていけるよう、トリアージタッグについての発言を全体に問いかけ、話題として取り上げる
<p>3. 『トリアージタッグ』という仕組みやその運用の在り方について考えたことを話し合う</p> <p>「亡くなってしまった人と、同じ番号を付けるってことは、助かりませんって言っているようなもの。お医者さんなら、あきらめずにがんばってほしい」 「もし、自分だったら、黒タッグはつけられない」 「でも、そのおかげでもっとたくさんの方が助かるならしかたがないのかもしれない」 「黒タッグは、それをつけられた人を助けないためじゃなくて、それ以外の人を助けるためのものだと思う」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの考えをもって話し合いに臨めるよう、必要に応じて「『黒タッグ』の考え方に納得できるか、できないか。」と問いを整理する ○心情的な話から『黒タッグ』に対して批判的にならないよう、防災計画にも「大人数」「効率」「重要個所」等、優先しなければならない視点があることを資料をもとに示す
<p>4. scene05・06を再度視聴しフライトドクターの思いや考えについて、考える</p> <p>「フライトドクターの人も、『ちょっとごめんなさい』って言っていた。きっと本当は助けたいんだと思う」 「本当に難しい判断だと思う。でも、だからこそお医者さんであるフライトドクターの『役割』なのだと思う」 「自分には絶対できないと思う。でも、何もできないのはいやだな。自分たちにもできることって、何だろう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○フライトドクターの一つ一つの言葉について正確に読み取り、振り返ることができるように、scene05・06を再度視聴する時間を設定する ○黒タッグの判断の難しさに気づけるよう、出演者やナレーターの反応についても手がかりにできるよう、板書で示す ○自分たちにできることを考えていくきっかけになるよう『役割』という言葉をとらあげる

※次の時間に、scene07・08を視聴し、scene08にある「自助・共助・公助」という言葉について確認し、自分たちにもできる「自助・共助」について調べる活動につなげていく。